

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所・小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	グループホーム夏桜(2F)	評価実施年月日	平成19年7月1日
評価実施構成員氏名	大橋美千代・井上里美・松山理枝・小椋律子・米澤由紀子・徳若澄		
記録者氏名	大橋美千代	記録年月日	平成19年7月31日

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

項目		印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>理念に基づく運営</p> <p>1. 理念と共有</p>			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>家庭的な地域の環境のもとで安心と尊厳のある生活を営むことが出来るよう自立支援することを理解とする。</p>	<p>(大切な命を元気で楽しい命に) 1・耳を傾けましょう。2・手を差し伸べましょう。3・美味しく食べましょう。4・草花、音楽を楽しみましょう。5・希望を持って元気な皆様の命に感謝しましょう。と理念をおき支援しています。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>運営理念を記載されている証を見やすい所に掲示し、またカンファレンス前に皆で斉唱し自己に携帯しています。</p>	<p>カンファレンス前に理念を斉唱し認識を高める。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>広報誌(年4回)に理念を記載しています。二ヶ月に一度ご家族、町内会長が参加され推進委員会実施し理解してもらっている。</p>	<p>ホームの理念や役割が地域とご家族に理解されるよう取り組んでいる。</p>
<p>2. 地域との支えあい</p>			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>町内会に入会しており、行事等には案内状を出したり気軽に遊びに来たり出来るよう取り組んでいる。</p>	<p>外にはテーブルと椅子を用意しているので隣近所の方が気軽に立ち寄ってもらいたいです。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>町内で行われている行事等、地域活動に参加して地元の方たちと交流することに努めています。</p>	<p>町内で行われているゴミ掃除、歩け歩け運動を継続していきたいです。</p>
6	<p>事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>事業所の広報誌の中に認知症の理解、ケアを記載して理解してもらうよう取り組んでいる</p>	<p>地域の高齢者等が気軽に遊びに来れるような働きがけを取り組みたいです。</p>

項目		印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	昨年の改善すべき点等の特記事項をもとに具体的な改善や情報公開に活かすことを通し良質なサービスの水準を確保し向上を図るように取り組んでいる。		改善にむけた努力などの情報提供を活かしたい。
8 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	ユニット会議、全体会議で常に質の向上を話し合い、その報告を管理者、町内会長、ご家族参加にて会議をしサービス向上に活かしている。		
9 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	市町村事業の受託の実績はない		今後取り組んでいきたい
10 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	市で行っている認知症研修などに出ることによって学ぶ機会を持っているが活用の支援はまだない。		一度に沢山のスタッフが参加は出来ませんので研修されてきたスタッフの内部研修を開いている。
11 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過されることがないように注意を払い、防止に努めている。	市で行っている拘束研修などに出ることによって学ぶ機会をもっている。		
4. 理念を実践するための体制			
12 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には重要事項説明に十分な時間をとっている、又事業所で出来る事出来ないこと、リスク、医療連携体制等を説明し同意を得るように取り組んでいる		

項目			印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者様が意見、不満を言えるような場面を作っており、得た情報はユニット会議にて話し合い支援している。</p>		<p>利用者様が遠慮などしないで意見、不満など言えるような時間を作っている。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。</p>	<p>健康状態、暮らしぶりなどは月一回御家族に情報提供をしている。金銭管理等については来訪時にご家族に確認してサイン頂いている。</p>		<p>毎月1回ホームだより(夏桜)を発行している。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>毎月発行の便りに記載し、また玄関に表示されている。ホーム長、スタッフ、ご家族でサービス担当者会議も反映される。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月2回のカンファレンス時に職員の意見や提案を開く機会がある。また随時ホーム長に対応して頂いてる。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>入居者の心身の状況により勤務者のローテーションを組み対応している。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>万が一スタッフが離職する場合には入居者様が動揺しないように言葉掛けや姿勢を大切にしている。</p>		

項目		印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	段階に応じ外部研修を受講したり内部研修を行っている。	
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	区の地域同業者の勉強会があるが交流はしていない。	自施設だけでなく他施設に訪問活動をしてみたい。
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	スタッフルームの設置、ロッカールーム等があり心身を休める場所がある。	
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	各個人の目標に向けてステップアップシートを年2回実地されている。	自己評価後ホーム長が一人ひとりと面談している。
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	入居者の不安状態を早く解消するための個別対応をしている。	毎朝、各居室に伺い身体の体調や困っていることがないかを聞いている。
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	ご家族の面会時には声がけをして相談できるように配慮している又サービス担当者会議をもうけたりする。	

項目			印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けたときに、本人と家族が「その時、まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	相談内容により改善に向けた支援の提案をする、場合によっては他のサービス機関に繋げるよう取り組んでいる。		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>	生活暦や家族からの情報を得てその人らしい暮らしや尊厳を支え穏やかな雰囲気になっている。		入居者一人ひとりに対して個別にさりげなく介助を行っている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>	常に傾聴を心がけ入居者の喜びや楽しさを引き出し職員は行事やならわしについて入居者との談話の中で教えて頂いてる。		
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。</p>	職員はご家族に本人の近況生活の様子を伝えご家族からも本人が思っていることを教えて頂き喜怒哀楽を共にしている。		
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。</p>	出来るだけご家族に来訪して頂き入居者様の様子を伝える。		入居者様とご家族がもっと外出の機会が増えるよう働きかけたい。
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	訪問は自由であり通信の支援を利用したり、ご家族の協力を得て自宅や墓参りにも行かれる。		入居者様のご家族、知人に電話を掛けたり、手紙を書いたりしている。

項目			印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	入居者様それぞれの役割を活かして力を発揮できるように声掛け場面を作っている。		食事の準備、洗濯者干し、ゲーム、入居者同士が声掛けあっている。
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	入居者様のお見舞いに行ったりご家族の方が顔を出してくださる。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様一人ひとりの伝えたいことを受け止め十分に話を聞き職員は本人に分かりやすい言葉で話している。		1日のうち一人ひとりの話を聞ける時間を作っている。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	馴染みの暮らしが活かせるよう生まれてからこれまでの生活歴をご家族からの情報を得ている。		センター方式を活用し利用者様情報シートをご家族に記入して頂き参考にさせていただいている。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	日々の個別記録、介護計画、一人ひとり特徴や変化を記録し申し送り、情報伝達をおこなっている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している。	入居者、ご家族の求めていることを把握し反映しながら一人ひとりの特徴を踏まえた介護計画を作成している。		

項目		印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	三ヶ月に一度の定期的な見直しを行っているが状態の変化によって随時介護計画の見直しもあるがまだなし		介護計画に沿って毎月モニタリングを行っている。
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	毎日介護計画が実践されているか確かめており、また日々の記録に残している。		介護計画を毎日実践されているか確かめている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	経営主体であるパウロ病院がバックアップとなっている為、受診がしやすい。		主治医が決まっています。又老人福祉センターで行われてる講座に希望されている入居者様の送迎をしています。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	民生委員の方にボランティアの協力を呼びかけているが実現されていない老人福祉センター、区民センターは利用している。		ボランティアが活用出来るように取り組みたい。
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	訪問歯科、美容を定期的に利用している。		
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	地域の会長、地域包括支援センターの職員を含む形の運営推進委員会を設立している。		

項目		印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	パウロ病院から毎月訪問診療、毎週訪問介護が入っているので常に相談して対応している。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	パウロ病院は介護型医療施設であり認知症高齢者の治療やリハビリ治療の医師が配置されている。		
45 看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	毎週一回看護師が訪問して利用者様の身体状況を把握して健康管理している。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院した場合は医療機関と協力し合い情報提供書を交換している。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	利用契約時に重度化したときの事業所が対応できる最大のケアについて説明、入居中に重度化したときはご家族やかかりつけ医等と話し合い方針を共有するよう努めている。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	利用者様の気持ち、ご家族の思いを連携医療機関と話し合い安心して終末期を過ごしていけるように移行に取り組んでいる。		

項目			印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49	<p>住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>自宅からホームに移り住む際はこれまでの生活暦をご家族から情報を頂き又ホームから別の居宅へ移り住む際はホームで支援してきたその人らしい暮らしや尊厳を活かしてあげる情報を交換し住替によるダメージを防ぐよう努めている。</p>		
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>人格を尊重し誇りやプライバシーを損ねるような言葉掛けや対応はしていない。</p>		<p>人生の大先輩であり、尊い人生を生きてきた入居者様の方々の尊厳の念や介護する姿勢を基本としている。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>言葉や笑顔を引き出すための雰囲気作りをしている。</p>		<p>傾聴を心掛けている。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>一人ひとりの過去の経験を活かしたケア、その人らしい暮らしを大切に活かしているが希望に添って支援できないときもある。</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>個別を大切に髪型、服装、おしゃれ希望に合わせて理美容院の利用を支援している。</p>		<p>月一度訪問理美容を「利用して」る。</p>
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>職員と入居者様と同じ食事を一緒に楽しく食べ可能な限り一緒に調理、後片付けをしている。</p>		

項目			印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。</p>	<p>おやつなどは一緒に買い物など行ったり、おらずに肉が嫌いな人にはお魚とかの配慮はしているが日常的にはしていない。</p>		
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。</p>	<p>排泄のパターンに応じ不安や羞恥心、プライバシーの配慮し自立に向けた支援を行っている。</p>		<p>排泄パターンに合わせた下着やパットの使用、失禁の対応にはさりげない声掛けに配慮している。</p>
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。</p>	<p>入浴時の不安やプライバシーに配慮した方法でくつろいだ入浴ができるように支援している。(時間、長さ、回数等)</p>		<p>入浴前はバイタルチェックし健康状態を確認してから入浴し出来る限り希望に添うように努力している。</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。</p>	<p>睡眠パターンを把握し疲労の程度に応じて一服したり、心身を休める場面を個別に取れるように支援している</p>		<p>個人記録より睡眠パターンを把握し適度な運動、散歩等で安眠につなげられるようにしている。</p>
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。</p>	<p>家庭菜園や詩吟、塗り絵やトランプ、花札など各入居者様の趣味や嗜好に合わせて楽しみを行えるよう支援また洗濯物たたみや掃除の際に声をかけて手伝って頂くなど役割にも張り合いが持てるよう支援している。</p>		<p>各入居者様の好み、生活暦についてご家族から情報を頂き、力を活かせる支援を行っている。</p>
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>買い物される際にはご自分で支払いができるよう支援している。</p>		

項目			印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	入居者様の希望に応じて散歩ができるように配慮し散歩以外にもホームの畑作業、買い物、地域のサークル活動などの参加できるように支援している。		地域のサークル活動の為の送迎をしている。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	一人ひとりが普段は行けない所には個別支援はしていないがご家族との外出、外泊等には一緒に出かけられるよう支援している。		四季を楽しんでもらうために、春の花見、夏の百合が原、秋の紅葉がりは2ユニットが合同で取り組んでいる。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話の子機を利用し、居室でゆっくりお話ができるよう支援している。手紙については郵便番号を調べたり投函しに行く支援を行っている。		好みの便箋や封筒を選んで頂いたりしている。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	家族、知人が気軽に来訪して頂けるよう明るく開放的な雰囲気作りを心がけ、利用者様とお客様が一緒に食事をして頂いたり気兼ねなく楽しい時間を過ごせるよう支援している。		ワークスペースなどゆっくり談話できる場所など提供している。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止の必要性とその取り組みについて職員が勉強会に参加しその勉強したことをカンファの中で勉強している。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中玄関は開錠し、利用者様が戸外に行かれる時は安全に配慮し一緒に同行させて頂くなどして自由な暮らしを送って頂けるよう支援を行っている。		

項目		印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	職員は利用者様を見守りやすい位置におり様子が把握出来るようにしている夜勤は時間毎に見回り、何か少し物音でもしたらすぐ行ける様にしている。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	利用者様の了解の上で保管させて頂き使われたいと言われた時には渡せる形を取っている。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	人は転ぶことを念頭に事故、障害を最小限にするため対策を考えいる。予防(じゅうたん敷く、音の鳴るセンサーを設置したり ご家族希望)		ご家族からも良い知恵をおかりしている。
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	内部研修で勉強会を行い急変時異常の早期発見のマニュアルを作成しているが実技による研修は実施されていない。		消防署の協力を得て蘇生術の研修を取り組みたい
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	消防の協力を得て避難訓練、避難経路の確認を実施されたが地域の人々の協力は得ていない。		地域の方々の協力を得て避難訓練が出来るよう取り組みたい。
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている。	ご家族に起こり得るリスクについて説明させて頂き抑圧感のない暮らしを出来るように話し合っている。		

項目		印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p>	<p>一人ひとりの日常生活のリズム等を職員が把握し食事の量、水分量、排泄など毎日チェックを行い異変があった場合等は職員間はもちろんのご家族に連絡を取り速やかに医療機関で受診して頂いている。</p>	<p>一人ひとりの体調や表情の変化に気が付いた時はバイタルチェックを行い変化時の記録を記載し情報を共有し状況によっては医療機関の受診に対処している。</p>
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>最新の処方箋を個人ファイルに管理して職員が内容を把握できるようにしている。配薬時は日にち、名前を確認し渡している。</p>	<p>配薬時は係りについたら者はあせらず、ゆっくりするように心がけている。</p>
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p>	<p>毎日便が出ているか確認し予防対策として水分チェック、牛乳などを飲んでもらうなどしている。</p>	<p>長く便秘が続く場合は看護師の指示を受けている。</p>
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p>	<p>食後の歯磨き、義歯洗浄、うがいは日常的に支援し出血や炎症のチェックをしている。</p>	<p>ケアプランにも取り入れてる。</p>
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事や水分摂取状況は毎日チェックし記録に残し、朝の申し送りで職員で共有している。</p>	<p>栄養バランスは栄養士のアドバイスなどをもらっている。</p>
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>マニュアルを作成し玄関前に手の消毒を設置、インフルエンザ対策は職員、利用者(ご家族同意有)予防注射を受けノロウイルス対策は床、台など塩素系で拭いたり対応している。</p>	

項目			印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>冷蔵庫の中は常に整理し常に整理し食材を見やすくし新鮮な食材を口に出来るよう買い物に行くなどの工夫をしている、また台所の布巾やまな板、包丁等の台所用品は常に殺菌消毒を行っている。衛生管理マニュアルも作成している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>玄関入り口や横等にプランターに花を植えて飾りガーデニングを楽しみながら出入り出来るよう配慮している。また庭の横にはテーブルとベンチを置いてお茶を楽しめるよう工夫している。</p>		
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用で使用される食堂の壁面には四季のレイアウトをしてその季節ごとの花を食堂テーブル等に飾って季節感を出すよう工夫している。</p>		
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>食卓テーブル以外に共用空間が二箇所あり、そこにはテーブル、ソファ、テレビが置いてあり利用者様が自由に過ごして頂いてる。</p>		
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室には使い慣れた家具や生活用品が持ち込まれ安心して過ごせるよう工夫している。</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>室内は換気、湿度、温度など快適に過ごせるように調節ができ各教室にも暖房器具は敵宜調節ができる。</p>		

項目		印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>廊下、広いトイレ、お風呂場にも手すりがありホーム内は段差も無く安全に生活できるように工夫している。</p>	
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>入居者様一人ひとりのできる力を見極めて不安や混乱を防ぎ自分に自信を持って頂くように支援している。</p>	
87	<p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>ベランダには椅子、テーブルを置いてありお茶など飲んで頂いたりプランターに花を植えたりしている、畑にはトマト、葉っぱ類等を植えている。</p>	

. サービスの成果に関する項目		
項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>ほぼ全て利用者</p> <input type="radio"/> 利用者の2 / 3くらい <input type="radio"/> 利用者の1 / 3くらい <input type="radio"/> ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> 毎日ある <input type="radio"/> 数日に1回程度ある <input type="radio"/> たまにある <input type="radio"/> ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> 利用者の2 / 3くらい <input type="radio"/> 利用者の1 / 3くらい <input type="radio"/> ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<p>ほぼ全ての利用者</p> <input type="radio"/> 利用者の2 / 3くらい <input type="radio"/> 利用者の1 / 3くらい <input type="radio"/> ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>ほぼ全ての利用者</p> <input type="radio"/> 利用者の2 / 3くらい <input type="radio"/> 利用者の1 / 3くらい <input type="radio"/> ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> 利用者の2 / 3くらい <input type="radio"/> 利用者の1 / 3くらい <input type="radio"/> ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> 利用者の2 / 3くらい <input type="radio"/> 利用者の1 / 3くらい <input type="radio"/> ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<p>ほぼ全ての家族</p> <input type="radio"/> 家族の2 / 3くらい <input type="radio"/> 家族の1 / 3くらい <input type="radio"/> ほとんどできていない

サービスの成果に関する項目		
項目		
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>ほぼ毎日のように</p> <p><input type="radio"/> 数日に1回程度</p> <p>たまに</p> <p>ほとんどない</p>
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<p>大いに増えている</p> <p><input type="radio"/> 少しずつ増えている</p> <p>あまり増えていない</p> <p>全くいない</p>
98	職員は、生き生きと働けている	<p><input type="radio"/> ほぼ全ての職員が</p> <p>職員の2/3くらいが</p> <p>職員の1/3くらいが</p> <p>ほとんどいない</p>
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<p><input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が</p> <p>利用者の2/3くらいが</p> <p>利用者の1/3くらいが</p> <p>ほとんどいない</p>
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<p>ほぼ全ての家族等が</p> <p><input type="radio"/> 家族等の2/3くらいが</p> <p>家族等の1/3くらいが</p> <p>ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実績の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載) その方らしい暮らしや尊厳を支え、喜怒哀楽を共に支えていく関係作りに努めている 四季ごとに室内をレイアウトし入居者様に季節感を感じて頂いている {大切な命を元気で楽しい命に}して頂く為に耳を傾け、手を差し伸べ、美味しく食べ、草花、音楽を楽しみ希望を持って元気な命に感謝するように心得てサービス提供している 外部との繋がりを持って頂けるように地域の行事、サークル活動参加への援助を行っている 歌、ゲーム、散歩の余暇と一緒に過ごしている 入居者様の心身の状態を留意し、ご家族とも話し合ってそれぞれの方の安全について気を配っている